

すべての子供に「できた」「わかった」を！

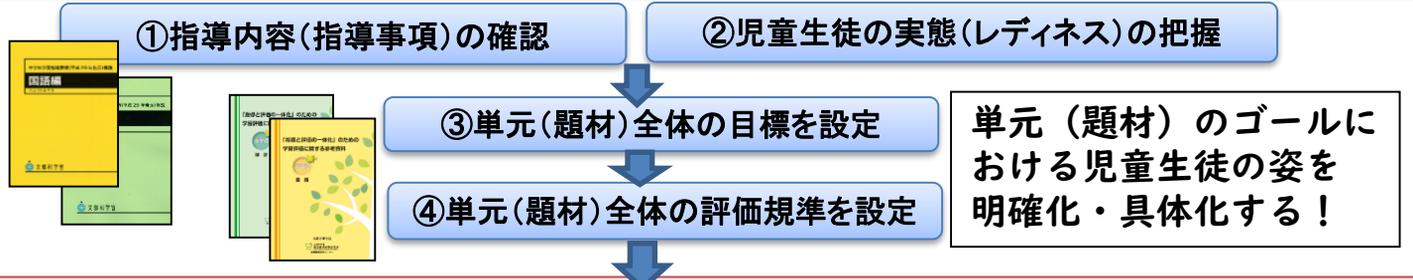
単元(題材)全体の位置付けから 1単位時間の授業を焦点化する！

西部教育局
お役立ち情報
令和3年12月号

1単位時間の授業内容が
焦点化できず、どうしても
時間を超過してしまいます。

単元(題材)計画を作成して単元全体のゴールイ
メージと指導のポイントを把握しておくことで、1単位
時間の授業のおさえどころが明確になりますよ。

【STEP①】 単元(題材)全体のゴールイメージを明確にする



【STEP②】 単元(題材)全体における位置付けから、 1単位時間ごとの指導のポイントを明確にする

(例)第1学年 算数 ひき算(1)

1	・数図ブロックの操作による 求残の場面理解	求残の場面
2	・ 求残の場面をひき算の式 に表して答えを求めること 《ひきざん、-》	
3	・ 求部分の場面をひき算の式 に表して答えを求めること	求部分の場面
4・5	・カードを使ったひき算の練習	
6	・数図ブロックの操作による 求差の場面理解	求差の場面
7	・ 求差の場面をひき算の式 で表し答えを求めること	
8	・「ちがい」という用語による 求差場面の理解 と答えを求めること	
9	ひき算にむす文書	

単にひき算の計算ができるようになるだけでなく、**減法が用いられる場面とそれらの意味について理解できるようにすることが大切**だな。

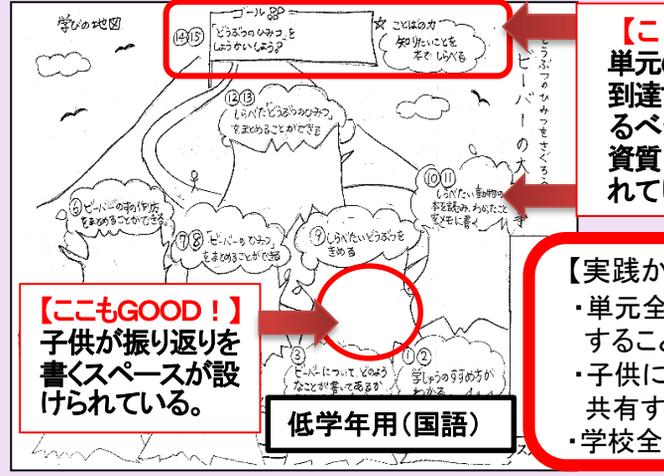
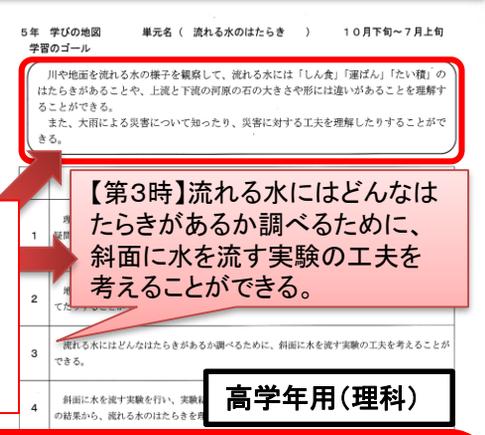
求部分の場面は3時間目のみ。求残の場面と同じ考え方が使えるので、1時間の扱いでよいということだな。ブロック操作も求残の場面と同じになるな。

求差の場面だけで3時間扱いになっていますね。**8時間目には「ちがい」を問う問題を初めて扱う**ので、どのようにブロック操作をさせるかを検討しておく必要がありますね。

【STEP③】 1単位時間ごとの到達目標を明確にした単元(題材)計画表を作成する

南部町立西伯小学校の実践より

西伯小学校では、「学びの地図」として、単元計画表を作成し、単元全体を見通した1単位時間の位置付けを明確にされています。



【ここがGOOD!】単元のゴールと、そこに到達するまでに身に付けるべき1単位時間ごとの資質・能力が一覧で示されている。

【実践から得られた効果】※学校への聞き取りより

- ・単元全体を見通して、本時で身に付けるべき資質・能力を明確にすることができ、指導内容の焦点化につながっている。
- ・子供にも配布することで、単元のゴールイメージや学習の見通しを共有することができる。計画表を見て、予習をしてくる子供もいる。
- ・学校全体で共有しており、教科の系統性の意識にもつながっている。